

バスケットボールとわたし

平尾小・3 大場 一架

わたしは、バスケットボールが大スキです。バスケットがスキになつたきっかけは、いとこのふうちゃんが楽しそうにプレイしているのを見たからです。わたしもふうちゃんみたいにプレイしてみたいと思いました。

お母さんから、小学校の子ども会でバスケットをやっていることを聞いて、わたしもやりたいと思い、もうしこみました。はじめての練習の日に、三年生はわたし一人で心配だったけど、やりたい気持ちの方が強かったので、がんばろうと思いました。さいしよは、スキそ練習すうまくできませんでした。くやくして家でも練習するようになつたら、少しずつできるようになってきました。それがうれしくて、もつとバスケットをやりたいと思いました。

お父さんとお母さんに相談したらバスケットクラブの見学に行つて行つてもらえることになりました。クラブの子たちの練習を見て、すごく上手で、わたしも早くクラブに入つて練習したいと思いました。見学に行つたその日にクラブに入るもうしこみをお母さんにしてもらいました。

次の日に、バスケットでひつような服やリュックなどを買いに行つて、わたしのテンションも上がりました。一番大事なバスケットシューズはふうちゃんがくれたので、大切に使うつもりです。マイボールには「ICHIKA」と名前を入れてもらい、とてもう

れしかつたです。おじいちゃんとおばあちゃんからは、バスケットゴールをプレゼントしてもらい、さらにやる気が出ました。

今は、子ども会とクラブの練習以外に、家でも毎日スキそシュートの練習をがんばっています。夏休みでふうちゃんが家に遊びに来てくれる時は、いっしよに練習をしたり教えてもらつたりしています。上手な人が教えてくれるのはとても勉強になるので、ありがたいと思っています。

お父さんは、仕事が休みの日には練習につき合ってくれます。わたしとお父さんは左ききなので、左きき用の練習をしてくれてとても分かりやすいです。さいしよは、右きき用の練習がとてもやりにくく感じていたけれど、お父さんが

「スポーツは左ききの方がゆうりなんだよ。」と教えてくれました。練習ではやりにくいけれど、がんばろうと思っています。

今はまだバスケットを始めたばかりで、ドリブルもシュートもかんぺきではないけれど、もつと練習して上手になりたいです。そしていつか、せん手にえらんでもらつて、し合いで大かつやくしたいです。そのためにも、今は練習を重ねていきたいと思っています。

バスケットボールはわたしが今、一番真けんにがんばつていきたいゆめの一つになりました。これからバスケットボールで楽しいこともつらいことも出てくると思うけど、なかまやコーチ、家族といっしよに乗りこえていけたらと思います。これからもつとがんばつていくので、おうえんしてください。